

映画 プリキュアミラクルユニバース



プリキュアたちがうちゅうへワープ!
ほしがキラキラとかがやくカラフルな
うちゅうにせまるききに立ちむかうため、
力をあわせるプリキュアたち
みているこっちもいっしょに
うちゅうをすくいたくなる!



©キネマ旬報社

ドラゴンボール超 ブロリー



宇宙にはまだ見たことのない強者がいると知り、
より強い相手と勝負したいと修行に励む悟空が
最強最悪のサイヤ人ブロリーと激突の正々堂々と戦う姿、
そして真の強さとは何かを
学べる展開にくぎ付け!



©キネマ旬報社

スパイダーマン: スパイダーバース



さまざまな時空から現れたいろいろな
スパイダーマンと力を合わせ、巨大な敵に挑む
少年マイルス。激闘のなかで彼が感じる、
ヒーローとしての役目、大いなる
力に対する責任について
考えさせられる!



©キネマ旬報社

ルパン三世 カリオストロの城



しろにとじこめられた少女をすくえ! 立ちはだかる
あくのぐんだん、しろに仕かけられたおなに
いどむルパンとなかまの活やくにワクワク!
ものすごいジャンプでしろのやねとやね
をとびまぐる場めんはドキドキ!



©キネマ旬報社

アクアマン



人間の父と海底人の母を持つアクアマンが、
地上と海底にせまる危機にいどむ! どちらの世界の
者であるのかを悩みながら激しい戦いをくり抜け、
ヒーローとしての責任に目覚める
主人公を思わず応えん!



©キネマ旬報社

ワンダーウーマン



女性だけの国の戦士ダイアナが外の世界へ!
女性の活やくを認めない考え方や人間同士の
戦争を、大きな愛と優しい心、そしてハイパー
な戦う能力を使って止めようと立ち上がるの
その美しく強い姿に見とれる!



©キネマ旬報社

Mr. インクレディブル



ふつうの人として生きる元スーパーヒーローとヒロイン。それでもせかいのききをほうっておけないと立ち上がる！ しごとやかさをこなしながら ヒーローとしてもがんばるすがた、 子どもたちのかくされた のうりよくにワクワク！



©キネマ旬報社

フェルディナンド



お花が大すぎなのに、とうぎゅうのくんれんをうけることになったうしのフェルディナンド。ほかのうしとたたかいたくない！ キレイなものにかこまれていたい！ じゅうをあいするかれを おもわずおうえん！



©キネマ旬報社

シュガー・ラッシュ：オンライン



インターネットの世界へと飛び出したゲーム界の住人で大親友のラルフとヴァネロペ。レース・ゲームでの大ばく走をはじめとするぼう険の数々、 友情の意味や大切さがわかる物語 に思い切り引きこまれる！



©キネマ旬報社

LIFE! / ライフ



雑誌の写真管理部で働き、会社と家の往復ばかりの男がひよんなことから地球を駆け回る大ぼう険に！ さまざまな人や出来事と出会い、大自然の厳しさと神秘にふれて、 小さかったかれの世界が どんどんと広がっていく！



©キネマ旬報社

ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生



やみの魔法使いグリンドバルドが脱走！ 魔法動物たちといっしょに彼を追うニュートを待ち受ける危険の数々。 魔法動物の可愛さ、正義に燃える仲間 たちのきずないくつもの物語 が重なる展開に興奮！



©キネマ旬報社

ルイスと不思議の時計



両親をなくした少年の親代わりとなったおじさんは魔法使いだった?! 広大な屋敷にひそむなぞと不思議にワクワク、魔法使いなのに頼りないおじさんのすがたにワッハッハ、 世界のききに立ち向かう たたかいはドッキドキ！



©キネマ旬報社

「ナルニア国物語」シリーズ



洋服ダンスやかべにかかった絵から、
い世界のナルニア国へ飛びこむ4人の兄弟姉妹の
不思議な動物たちとのふれ合い、
おそろしい魔女との戦い、
そしてナルニア国の王や女王に
なってしまうぼうけんに大こうふん!



©キネマ旬報社

美女と野獣



うつくしくてやさしいおすめベルとやじゅうに
すがたをかえられた王子がおりなすこのゆくえに
ドキドキのベルや王子につかえるしろの
ものたちが歌うぎよくの数々、
ごうかですてきなダンス
シーンにウットリ。



©キネマ旬報社

チャーリーとチョコレート工場



お菓子の作り方はじめ、すべてがひみつのおかし工場を子どもたちが見学!
チョコの川、みんな同じうつきをする小人ぐんだん、
一生けんめいにはたらくりすたちなど、
よにもふしぎなこうけいに
ビックリ!



©キネマ旬報社



サッカー部員を応援しようとしてチアダンス部に入った女子高生のいつのまにかチアダンスに夢中になって、
全米大会を目指して部員たちともう練習。
元気いっぱい一糸乱れぬ
ダンスに見入ってしまう!



©キネマ旬報社

SING / シング



ゆめをかなえたいけど一歩ふみ出せない
そんな動物たちが、オンボロけき場で
ショーをくり広げて歌っておどります!
時にノリノリ、時にシンミリ
かれらといっしょになって
思わず大ねっしょう!



©キネマ旬報社

トロールズ



歌っておどるのが大好きなようせいたち
“トロール”が、さらわれたなかまを
すくい出そうと大・大・大ぼうけん! どんな
ぎけんがせまっても歌っておどってかいつ、
どんなてきとそうぐうしても
ハグでなかよしに!



©キネマ旬報社

ANNIE / アニー



こ見院で育った10才の少女が引きとられたのは大富ごうの家。かのじよのまっすぐな気持ちと
なくて大きな心、ご機げんな歌とおどりが
さまざまな問題をかかえた
周りの大人たちを
ハッピーにってしまう！



©キネマ旬報社

ダンボ



おおきな耳をもって生まれた子ゾウのダンボの
だけど、その耳にはおどろくべき秘密があった！
それがあきらかになるとき、
他の人とのちがいはよわさじゃなく
てつよさになるということが
わかるはず！



©キネマ旬報社

塔の上のラプンツェル



森のおくふかくにある高いとうからいちども出た
ことのないラプンツェルが、はじめて外のせか
いにとび出した！じゆうじぎにいながせる長い
かみでききをのりにえていく大ぼうけん、
ハリハリ之歌とおどりに
ガキゲン！



©キネマ旬報社

グレイテスト・ショーマン



家族の幸せのためにちよう戦し続ける男
P.T.バーナムは、個性を持つ人々を集めた
ショーで大成功。しかし、その矢先に波乱が
苦難に負けないかれの強さ、
胸を張っておどるダンサーたち
の姿に勇気をもらえる！



©キネマ旬報社

スウィングガールズ



食中毒にさせてしまったすい奏楽部に代わって、音楽
経験ゼロの女子高生たちがビッグバンドを結成！
それでも仲間となにかに打ちこむ
素晴らしさ、音楽の楽しさだけは
ピンピン伝わってくる！



©キネマ旬報社

フォレスト・ガンプ / 一期一会



知的障害があるも、だれよりも速い足と
清く優しい心を持った青年フォレスト・ガンプの
アメリカの歴史と深く関わったふしぎで
そう大なかれの半生にビックリ、
そこから学べる人生のおく
深い意味にシミシミ！



©キネマ旬報社

響 -HIBIKI-



とつじよとして現れた天才女子高生小説家、
ひびきの書きたいものしか書かないというかの
じよの文学に対する姿勢が、
迷いをかかえている他の作家たち
や出版社に務める人々の
気持ちを変えていく!



©キネマ旬報社

ルドルフとイッパイアッテナ



かいぬしからあいされてそだった黒ねこルドルフ
が東京でまい子に! 出会ったボスねこといっしょ
にたびをして知る、外のせかいのきびしさ、
そこで生きるためのちほうの
だんだんとたくましくなる
ルドルフにおどろき!



©キネマ旬報社

若おかみは小学生!



小学6年生の女の子がおばあちゃんのいとなむ
おんせんりよかんでおかみをめざす!
しっぴいばかりでおちこむけど、りよかんにすむ
ゆうれいや子おににはげまされながらがんばる!
少しずつおかみに近づく
すがたにかんどう!



©キネマ旬報社

ボヘミアン・ラブソディ



青年フレディは、あるバンドのメンバーに出会っ
たことで音楽の道に! 瞬く間に世界的スターと
なった彼の栄光の影に隠された苦悩に涙の
彼らの仲間を想う気持ち、
音楽の持つ素晴らしいカ
に心を奪われる!



©キネマ旬報社

ズートピア



けいかんとなり大としズートピアにやってきた
ウサギのジューディオ 強くてたくましい大がた
どうぶつじゃないからとじけんのそうさをさせて
もらえないかのじよが、町のききにいどむ!
小さな体でがんばるすが
たに思わず応えん!



©キネマ旬報社

この世界の片隅に



空襲が続き、食べ物も足りなくなっていく
日々の中で、それでも普通の生活を送り続けようと前を向く女性すずの
戦争中に人々が精一杯送った普通の暮らし、
そこで生まれた知恵やたく
ましさに驚きと感動!



©キネマ旬報社

「テーマ」「愛や友情について考える。大切なことを教え
てくれる映画」

言の葉の庭



靴職人を目指す高校生が、雨の日の公園に現れる女性に抱く甘酸っぱい気持ち。少年から大人へと変わろうとする時期に生まれる悩みや苦しみ、夢への想いを通して、感情と向き合うことの大切さを学べる!



©キネマ旬報社

バクマン。



少年ジャンプで連載を持って一番人気になってやる! その夢をかなえようと、高校生ふたりがマンガをかきまくる!ジャンプのマンガに欠かせない、友情、努力、勝利をかみしめるかれらにこちらも感動!



©キネマ旬報社

「トムとジェリー」シリーズ



ケンカばかりしている、ネコのトムとネズミのジェリー。ジェリーがしかけるイタズラとやられっぱなしのトムにおおわらい、ときにてをとってあってピンチをきりぬけるなかよしぶりにこころがあたたまる!



©キネマ旬報社

ライフ・イズ・ビューティフル



ナチスによって強制収容所へと送られたユダヤ人一家。ぎやく殺がくり広げられるなかで父親が幼い息子に教える、希望を持つことと笑顔を忘れないこと。その教えが導くきせきになみだが止まらなくなる!



©キネマ旬報社

走れ! T校バスケット部



大好きだったバスケットボールをやめた高校生が弱小のバスケット部へ! 7セありだけど熱い仲間たちと練習するなかで思い出す、バスケットへの情熱や好きなものに打ちこむことの素晴らしさになみだ!



©キネマ旬報社



©キネマ旬報社

全国グランプリ 低学年の部

生まれ過ぎてよかった

東京都 荒川区立 瑞光小学校2年生 上羽宏明

「ぼくが生まれてこない方がよかったかな。」お兄ちゃんは、ぼくにばかりおこるから。

『未来のミライ』を見て、お兄ちゃんと同じだと思った。いえでアルバムを見たら三才のお兄ちゃん
は生まれたてのぼくの頭をそうっとなでてくれて
いて「ヒロくんかわいいね。」が、□ぐせだった。く
んちゃんよりやさしかった。いつもしゃしんのまん
中にいたお兄ちゃんは、ぼくがいなければずっとま
ん中にいたはずだからぼくまでさみしくなった。

「ぼくなんて、かわいくない。」
ってくんちゃんは出ていったけど、お兄ちゃんも同
じように思ったかもしれない。ぼくにあいをとられ
てさみしい気もちが重なってぼくにおこるのかも
しれない。

だから、お兄ちゃんがさみしい時に「大じょうぶ
だよ。」「かわいいよ。」と言ってあげることにした。
これからおたがいにやさしくし合って「生まれでき
てよかった。」と思えるようにぼくがお兄ちゃんを
しあわせにしたい。



やさしさの半分はゆう気でできている

大阪府 関西大学初等部3年生 森脇菜葉



「やさしさの半分は、ゆう気でできている。」

映画館の前を通った時、目にした映画のパンフレットにそう書かれていた。主人公の男の子はなぜかヘルメットをかぶっている。

「とても気になる。」そんな思いから、私は主人公のオギーと出会うことになった。

オギーは、10才の男の子。トリーチャー・コリンズ症こう群という伝子の病気で、人とはちがう顔で生まれてきた。そんなオギーは、小学校五年生ではじめて学校に入学した。学校では、いじめやうら切りを経けんし、つらい思いをする。だけど、家族にささえられながら、たくさんのおえとゆう気でのりこえていく。そんなオギーに、まわりの人たちの心がやさしくなっていく。そんな物語だった。

実は私の左耳は、あまり聞こえていない。ちょうど一年くらい前からだ。左がわから話しかけられると、うまく聞きとれなくて、

「えっ何。」

「って何回も聞きかえすから、友だちに

「もういいっ。やっぱり何でもない。」

と言われる。そんな事をくり返していくうちに、私は聞きかえす事ができなくなつた。

「何回も聞きかえすのは、友だちに悪い。」

それが友だちにたいする私のやさしさだと思っていた。

けれど、オギーと出会うと、私のやさしさは本当のやさしさではない事に気が付いた。

私は、何回も聞きかえしたら、友だちにきらわれるかもしれない。みんなにむしされるかもしれない。とても、とてもこわかった。だから、ゆう気を出して聞きかえせなかったんだ。

私は、左耳の事を、みんなにきちんと伝えることが本当のやさしさにつながると思った。やさしさの半分は、ゆう気でできている。オギー、教えてくれてありがとう。私、ゆう気を出して、友だちみんなに左耳の事を話そうと思うよ。」

未来のミライをみて

埼玉県埼玉大学教育学部付属小学校5年生 高田あゆ子

未来から妹がやってきた。その妹は、自分よりも大きい妹という不思議な話。

さて、私には弟がいた。映画の立場で言うと、私はくんちゃんだ。主役の4才位のくんちゃんには、妹がいて、妹をいじめていた。私もうさうだ。病気で生まれた弟が、病と戦っているのにほっぺを引っぱったり、お風呂に入るとくちびるの皮が湯にういているのを文句言っていた。当時私は一年生だったのに、家出すると言って、はだかのままであろうかに行ってしまったこともあった。だからくんちゃんかわがままを言う気持ちも分かる。成長すると出来ることも増えるが、下の子が出来ると、親から甘やかしてもらえなくなっておこっしまう。1人っ子だったらいいなと思ったこともあった。

でもそんなある日悲しい出来事があった。それは、弟が病気にまけてしまったということだ。まるでねているようにベッドにいた。弟が亡くなったということは、家族が一人へる。毎日のように聞いていた弟の泣き声も無い。かわいいあの笑顔も生では見られなくなる。すきとおったまろい目で、いつも見てくれた。だっこすると喜んでいて。お父さんもお母さんも、がんばって泣くのをがまんしていた。私からはがんばろうと前を向いていたように思えた、あの時から生活が変わってしまった。人生で一番悲しい出来事だ。

くんちゃんのように、時空をいったりきたりできるわけでもないが、もしできるのならば、弟がいた時の未来をみてみたい。

今の時代、子供を殺す親や、いじめで、自殺してしまう子供がいるので、この映画で命の大切さ、自分が生きていることを大切に思っしてほしい。

命は言うまでもなく、大切にかけがえのない物。人に命の大切さを説明したって、命があるのはあたりまえと思うだろう。でも、神様がさずけてくれた命は最後まで大事にしようと思う。



私の心の靴

奈良県 奈良県立青翔中学校3年生 大家衣濃理

あのとき私も歩けずにいた。ユキノのように。そしてタカオのように。

荒れたクラスと複雑な友達関係。それに疲れ果てた私は友だちの輪に入る事なく孤立してしまった。まだ幼かった不器用な小学生の私には解決の術がなく、一人でいることに耐え、慣れるしかなかった。私の異変に気付いた両親もまた苦悩していた。先生もできる限りの配慮をしてくれた。が、目に見える効果はなかった。次の朝を迎える夜がこわかった。段々と眠れない日が続いた。

「もう学校に行きたくない。」

勇気と声を振り絞って、私は両親に言った。父は一瞬だけ表情を変えたが

「いいよ。行かなくていい。」

と言った。母は何も言わず、うなずいた。私が学校に行けない日、母は双子の妹も欠席させた。

「お父さんもお母さんも仕事を休めない。一人にさせておくのは心配だから一緒にいてあげてほしい。」

とお願いされたら妹は言っていた。単純な妹は、病気でもないのに堂々と休めると喜んでくれた。母は言葉通りの事情でそうしたのか、あるいは他の思惑があったのか、今となれば知る必要もないので聞いてはいない。妹と一緒に何かをするわけでもなくただなんとなく時間が過ぎるのを感じただけの時間だった。世間から見れば、両親の判断が正しかったのかどうかも私には分からない。ただ、私には必要な時間であったと思う。窓を開けたときに、風に乗って聞こえてきた校内放送のアナウンスに何とも表現しがたい気持ちになったことも、はっきりと覚えてる。

結局暇すぎる時間に耐えかねた妹は、欠席して四日後に学校に行った。一人で家にいる淋しさと怖さを恐れて、私も同じ日から学校に行った。学校は何も変わっていないように何か変わっていた。いや、私が変わったのかもしれない。あの三日間で、私は歩き出せた。はだしになってすり減っていた心の靴を、磨いて打ち直して、修理できたのだと思う。

あの庭園のあの東屋で、ユキノが靴がなくても一人で歩けるように練習した、タカオが靴職人への道を模索した、かけがえのない雨の日々が私のあの三日間と重なる。歩き出せたユキノはまた教職に戻り、タカオは靴職人への思いを強くした。そして、私もなんとなく夢を見つけて、楽しめの中学生生活を送っている。いつか私が、人生を歩けなくなりそうになったら、またこの映画に会いたい。裸足でも歩ける。靴をはけばもっと遠くまで歩ける。

人の世に疲れ 明日を見失なば 見がほし ひかめく言の葉の庭

